



2025年2月6日

各 位

会 社 名 東亜道路工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 森下 協一
(コード番号：1882 東証プライム)
問合せ先 取締役管理本部長 仲村 直規
(TEL. 03 - 3405 - 1811)

株主還元方針の変更及び2025年3月期配当予想の修正(増配) に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株主還元方針の変更を決議いたしましたのでお知らせいたします。また、2024年8月2日に公表いたしました2025年3月期の配当予想につきまして、今回の株主還元方針の変更に則り修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 株主還元方針の変更

(1)変更の内容

変更前	配当性向50%以上、年間配当42円/株をベースラインとする安定的・継続的な株主還元
変更後	配当性向100%・DOE8%を目標とした株主還元

※DOEは、「年間配当/株主資本(期中平均)×100」にて算出。

(2)変更の理由

当社は、当社の企業理念を「自らの意思と成長をもって、人々の生活を足元から支える」として、CSR経営へのシフトと持続可能な成長基盤の確立を目指しており、企業価値の向上を図るためには、成長投資を含む継続的な投資と財務健全性の確保が不可欠であると認識しております。また、中長期的に株主、投資家が期待するエクイティ・スプレッド(ROE-株主資本コスト)の拡大に向け持続的に改善していく必要があると考えております。

こうした考えのもと、2024年5月に公表いたしました中期経営計画「TOA ROAD Sustainable Plan 2026」では、資本コストを意識した経営戦略として「ROE9%以上」を目指し、株主還元の具体策を「配当性向50%以上、年間配当42円/株をベースラインとする安定的・継続的な株主還元」を目標といたしました。

当社株式への評価に関しては足元では株価は上昇し、PBRは1.0倍を超えておりますが、さらにTOPIXの水準を目指し、あらためて今後の財務・資本戦略について、業績動

向、資金計画、資本効率などを総合的に勘案し検討した結果、中長期的なROE目標達成に向けて、より一層の積極的な利益還元を継続し資本効率の改善を図るとともに、安定した株主還元を行っていく方針を明確にすることが望ましいと判断し、当面の間、株主還元の目標を配当性向100%に引き上げ、さらに配当の指標としてのDOEを採用することといたしました。

当社では、資本コストや株価を意識した経営戦略を重要な経営課題の一つであると捉えております。創立100周年となる2030年のあるべき姿「TOA ROAD Vision 2030」の達成に向けて引き続きROEの維持・向上に努め、また、株式市場における当社株式の評価、PBRの更なる向上を目指してまいります。

(3) 変更の時期

2025年3月期 期末配当より適用いたします。

2. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2024年8月2日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 52.00	円 銭 52.00
今回修正予想	—	—	—	85.00	85.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2024年3月期)	—	—	—	210.00	210.00

当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため前期実績(2024年3月期)の期末配当金は、当該株式分割前の実際の配当金を記載しております。

修正の理由

上記1. の株主還元方針の変更を反映し、前回公表した配当予想を修正いたします。

以上

(ご参考 2025年3月期 [連結] の配当予想)

	1株当たり 当期純利益	1株当たり配当金			配当性向	DOE
		第2四半期末	期 末	合 計		
2025年3月期 (予想)	84.33円	—	85円	85円	100.8%	7.7%
2024年3月期 (実績)	399.69円	—	210円	210円	52.5%	4.0%

当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため2024年3月期(実績)の1株当たり当期純利益及び期末配当金は、当該株式分割前の実際の数値を記載しております。